



## 地域おこし協力隊を中心に進める「自伐型林業」

- かつてのように、森林所有者や地域住民たちが自ら森林整備に取り組む「自伐型林業」が注目されつつある中で、**島根県津和野町**では地域おこし協力隊を募集し、その実践者を育成しています。
- 地域おこし協力隊の任期中に、小型重機を使った壊れない作業道づくりのノウハウを学んだり、搬出間伐などの技術を習得しています。
- 3年間の任期を終えた隊員のほとんどが、津和野町に定住し、「自伐型林業」を生業として生計を立てています。



ありむら のぞみ

**島根県津和野町 地域おこし協力隊員 有村 望 さん**（活動期間：平成28年度～平成30年度）

以前は都会で木材の流通の仕事をしていましたが、林業の現場から国産材の普及に貢献したいと思い津和野町へ移住しました。3年間の研修を終えた現在は町内の山だけでなく、隣町で作業道の開設などを行い、生計を立てています。また、木工にも取り組んでおり、商品として販売出来るよう制作に励んでいます。



## 北海道十勝から全国の食卓へ！

～ 安全・安心・美味しい「原木しいたけ」をお届けします ～

しんとくちょう

- 北海道新得町は、北海道のほぼ中心、十勝地方北西部の中山間に位置し、総面積約1,064km<sup>2</sup>のうち、約90%が森林で大雪山国立公園にも指定されている緑深い自然豊かな町です。
- 現在、新得町では原木しいたけの生産体制の強化及び担い手育成を推進しており、地域おこし協力隊員が中心となって原木しいたけの生産・販売、生産者の育成・サポート等を行っています。



まさわき けんじ

**北海道新得町 地域おこし協力隊員 正脇 健次 さん**（活動期間：平成28年度～平成30年度）

3年の任期中は主に町内の農家さんのお手伝いをしながら知識と技術の取得に励みました。植菌から収穫までの基本的な技術はもちろんのこと、伐採に必要なチェーンソーの使い方から、イベント出店による直売の方法など、就農に必要なと思われるスキルを多く教わることができました。忙しいながらも充実した3年間だったと思います。

任期後は就農し、地域の一人となって産業を次世代に繋げることを目標に日々を過ごしています。



## 山にこだわる。木にこだわる。

～ 十津川村の木と暮らす、家具職人の思い ～

とつかわむら

- 奈良県十津川村は、奈良県の最南端に位置する日本一大きな村で、源泉かけ流し温泉や世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」などの観光資源を有する自然豊かな山村です。主要産業である林業においては、村の面積の約96%を占める森林を活用した「林業6次産業化」の取組を進めています。
- 地域おこし協力隊卒業生含め7名が村の豊かな環境資源を活かし、ものづくりや観光といった分野で活動を行っています。今まで当たり前だった木々や農作物、美しい景観などの良さを改めて発掘し、村内外への発信を行っています。



むらお まもる

**奈良県十津川村 地域おこし協力隊員 村尾 守 さん**（活動期間：平成29年度～令和元年度）

奈良県立職業訓練校で家具製作を学んでいる間に十津川村の林業に対する取組を知り、興味深く感じたため、地域おこし協力隊として移住しました。在任中は、十津川村産の木材を使った家具の製作や製品開発を行いながら、独立後を見据えてオリジナル商品の開発に取り組みました。任期満了後も変わらず家具製作を続けています。